

あなたなら きっと できる！

Yes、You Can

埼玉県立特別支援学校大宮ろう学園 進路通信 第9号 平成30年12月12日発行

高等部1年生 社会科見学

11月27日(火)に筑波技術大学を見学してきました。生徒たちは先輩の説明や大学の先生方の説明、体験談を聞き、とても参考になったと言っていました。体験授業では、デザイン、情報、機械、建築の4つのコースに分かれて大学の雰囲気味わうことができました。簡単な授業ではありましたが、生徒たちが興味を持って作業する様子がみられました。またコースによっては本校卒業生が授業に参加して意見を交しました。



専攻科1年生

就労支援アドバイザーによる五者面談

11月30日(金)に本校の就労支援アドバイザーである(株)マルイキットセンターの堀充様をお招きし、生徒、保護者、担任、進路担当との五者面談を行いました。生徒は面談に向けプロフィールや実習歴をまとめたり、進路決定に向けての質問を考えたり、準備をして臨みました。生徒はもとより保護者の方からの質問にも丁寧にお答えいただき、今後の進路実現に向けて参考になったと思います。面談終了後には、生徒向け講演会として、社会人として働くうえで大切なことを、実例を交えてお話しいただきました。マルイキットセンターで働く本校卒業生からのアドバイスも写真入りのスライドで紹介され、生徒は熱心に見入っていました。

重複部 進路講演会「高等部卒業までに親ができること」～ろう学校生活と進路決定までの道のり～

重複部の進路講演会は、小・中・高の保護者の方々にむけて、講師に、子育て、現場実習、進路の様々な方向性、受けられるサービス、グループホーム、障がい者手帳の種類、年金受給の申請等、今後直面するいろいろなことを具体的に語っていただき、座談会形式で、話し込むことのできるよい機会となっています。今年は、卒業生の保護者、黒滝久美様を講師にお招きして、子育て、進路を考えての転居、進路決定までの一筋縄ではいかなかったご苦労を語っていただきました。情報収集やサービスを受けるためには、役所や地域支援センターに行くこと。親主体に進める面もあるが、本人にも意見を聞くこと。実習、見学等の経験を積み重ねること。家事をしてもらうこと。子供が自信を持ってできるまで繰り返し練習すること。ピンチはチャンスととらえて対処していけば、成長できる機会となること。文章は未熟でも、連絡を取りあって卒業後も会える友だちがいることは幸せ。子育ては参考にしても、まるごと真似をしないでわが子の個性に向き合うこと。自分の健康にも目を向けておくこと。進路先は運とタイミング、ご縁という面もある等、大変有意義な時間となりました。

